

寒い冬の季節を迎えて



井原 健雄
(香川大学名誉教授)

Takeo
Ihara

前回の巻頭ゼミナールでは、「猛暑の夏を振り返って」と題して、筆者が、毎朝早くから起きて、我が家に所狭しと積み重ねられていた図書や資料類の整理を行ったことについて言及したが、その作業も決して完了することなく、いまやもう寒い冬の季節を迎えている。このことに気付いたのは、「北風吹き抜く寒い朝」を北九州の小倉で迎えたからである。本当に寒いと肌に感じてコートの際を立てて街中を歩いてみると、道添えにある街路樹の多くはすでに燃えるような紅葉の時期を終え、いまでは黒褐色に変色して朽ち始めていた。急いで大学の研究室に駆け込んでホッとしたところであるが、そこで強く感じたのは、「北九州の小倉の方が、北海道の釧路よりも寒い!」ということであった。

というのも、筆者自身、一昨日まで北海道の釧路市内に滞在して、昨日、北九州市内の小倉に帰ってきたからである。ところでこのような主張に対して、それが何故なのかその理由を尋ねられたら、読者は果たしてどのように答えられるであろうか? もとより各人各様の答えが用意されるであろう。例えば、往々にして大学人のしがちな「ある固定観念に捉われた後づけの説明の仕方」が許されるとしたら、それは「太平洋に面した北海道の釧路よりも、日本海に面した北九州の小倉の方が、寒くて当たり前だ」ということになるのかもしれない。なぜなら「太平洋」といえば、黒潮が流れる暖かいイメージが定着しており、一方「日本海」といえば、玄界灘があって寒いというイメージが定着しているからである。したがって、このような固定観念に頼ることにより自らの主張を弁護できるかもしれないが、もとよりそれが正しい主張であるかどうかの判断は、さらに詳細な吟味検証が必要であろう。(ちなみに「南国」といわれる四国の「高知」県内に「嶺北」という地域があることをどのように理解され、またどのような「イメージ」をもたれるであろうか?)

また、竹内啓氏の『経済学と統計学の間』と題する著書によれば、ある主張に対して、それが何故であるかと考えたがる傾向にある人は「原因志向的」な見方や考え方をする人であると規定して、とくに経済学者たちに多いという。また、それとは反対に、その主張や現状に対する見方が今後どうなるかと考えたがる傾向にある人は「結果志向的」な見方や考え方をする人であると規定して、とくに工学者たちに多いという。さらにまた、そのいずれ

でもなく、すなわち、原因志向的でもなければ結果志向的でもない見方や考え方をする人-すなわち、現状があるがままに理解しようとする傾向にある人は「過程志向的」な見方や考え方をする人であると規定して、これは統計学者たちの特性であると指摘している。したがって、読者各位も自らの個々の見方や考え方の傾向から判断され、そのいずれに分類されるか考えてみられたら如何であろうか? もとより、分類すること-すなわち、「分ける」ということ-は、そうすることによって一層「分かる」というために行うものであることから、その目的を曖昧なままにただ単に分類するということに対しては、必ずしも賛同を評しかねるが・・・。

とはいえ著者は、このところあまりにも多忙な日々を過ごしてきたが、良く考えてみると、「暑い夏」から「寒い冬」に一気に移るようなことは決してなく、その間に味わい深い「秋」が控えていたのも冷厳たる事実なのである。そこで、あまりにも寒い冬の朝を迎え、大学の研究室で一人静かにその秋をどのように過ごしてきたのか思い返してみると、9月17日に北九州市で開催された「国際東アジア研究センター」(ICSEAD)主催のアジア講座における「ロジスティクス」に関する基調講演を行ったことをはじめ、10月18日と19日の両日には、北京大学で開催された日本と中国の応用地域学会の共同セミナーにも参加して論文報告を行った。また、翌20日には、中国科学院で開催されたオランダと中国の投入産出分析のワークショップにも招かれ、論文報告と共同討議に参加する機会を得た。そして、11月15日と16日の両日には、実に45年ぶりに北海道の釧路を訪れ、釧路公立大学で開催された応用地域学会(ARSC)の第22回研究発表大会に参加して、セッションの座長を務めたほか報告論文の討論も担当した。なお、本大学の小磯修二学長は、地域研究センター長も兼務され、ARSCのメンバーであるとともに、地元・香川とも因縁が深く、高松高校の卒業生でもあり、またわが国において20万人規模の都市で公立大学を創設された最初の立役者でもあった。このような研究活動や学会への参加を通して素晴らしい人との出会いがあり、また当方の研究活動へのさらなる刺激が得られたことに対して心から感謝する次第である。寒さ厳しい折柄、読者諸賢のご健勝を切に祈念したい。

第60回中小企業団体全国大会開催!

去る11月20日、『連携、拠点、政策発信～躍動する中小企業!～』をキャッチフレーズに、第60回中小企業団体全国大会が仙台サンプラザ「サンプラザホール」(宮城県)で開催されました。

本大会には、全国から中小企業団体の代表者約2,300名が参集し、本県からは国東照正会長をはじめ32名が参加しました。

吉川貴盛経済産業副大臣他、上村隆史厚生労働審議官、政党代表、関係機関代表、村井嘉浩宮城県知事、梅原克彦仙台市長など多数のご来賓のご臨席を得ました。

大会では、「中小企業連携組織対策の充実・強化と中小企業に配慮した労働対策の推進について(全国レディース中央会会長)」「事業承継税制の確実な実施等と地域活性化、中小商業・サービス業対策の充実・強化について(石川県中央会会長)」「資源高・原材料高、金融危機に対応する景気対策の実施と下請対策の推進について(宮城県中央会副会長)」の意見発表が行われた後、中小企業が直面している重要課題13項目(下記参照)が決議されました。

また、優良組合33組合、組合功労者71名、中央会優秀専従者39名が表彰され、本県からは、優良組合として大野原石油エルピーガス商業協同組合(大西由記理事長)、組合功労者として岡部精氏(善通寺市上下水道工事業協同組合理事長)、中央会優秀専従者として本会小松原係長が表彰されました。

最後に、決議事項の早急な実現を求める「大会宣言」が採択され、次期大会は千葉県千葉市で開催されることが発表されました。



■優良組合 大野原石油エルピーガス 商業協同組合

理事長 大西 由記
平成12年7月設立
組合員数 7名



■組合功労者 岡部 精

(善通寺市上下水道工事業協同組合理事長)
昭和56年1月設立
組合員数 12名



▲香川県中央会参加者(国東会長はじめ32名)



▲大会の様子(仙台市・サンプラザホール)

大会決議

1. 即効性ある景気対策の確実な実施
2. 中小企業対策の拡充・強化
3. 組合等連携組織対策・中央会支援体制の強化、組合制度のさらなる活用等
4. 下請取引適正化のさらなる推進
5. 不当廉売等への迅速かつ実効性ある対処
6. 中小企業並びに官公需適格組合の受注機会の増大実現
7. 中小企業のIT活用支援の強化・拡充
8. 中小企業金融機能の維持、制度のさらなる拡充等
9. 事業承継税制の確実な実施など中小企業の活性化に向けた税制支援の拡充
10. 中小企業に配慮した労働・教育・社会保障政策の推進
11. 商店街及び中小小売商業の活性化支援の拡充
12. 中小流通業・サービス業振興対策の強化
13. 持続的発展を可能とする環境・エネルギー・事業継続対策の拡充

あなたの経営課題を解決します! ～地域力連携拠点(窓口相談)をご活用ください～

ご相談は **無料** です。まずはご相談から。

本会は全国316拠点(香川県内は6拠点)の1つとして「地域力連携拠点事業」に取り組んでいます。
特に、「地域資源活用」、「農工商等連携」の2つを重点として支援に取り組みます。

- 地域資源を有効に活用したい。
- 創業・事業転換したい。
- 農林水産業との連携に取り組みたい。
- 新しい事業を展開したい。
- ITを活用した経営管理を行いたい。
- 事業の見直しをしたい。
- 経営課題を明確化したい。

このようなときは、お気軽にお電話ください。

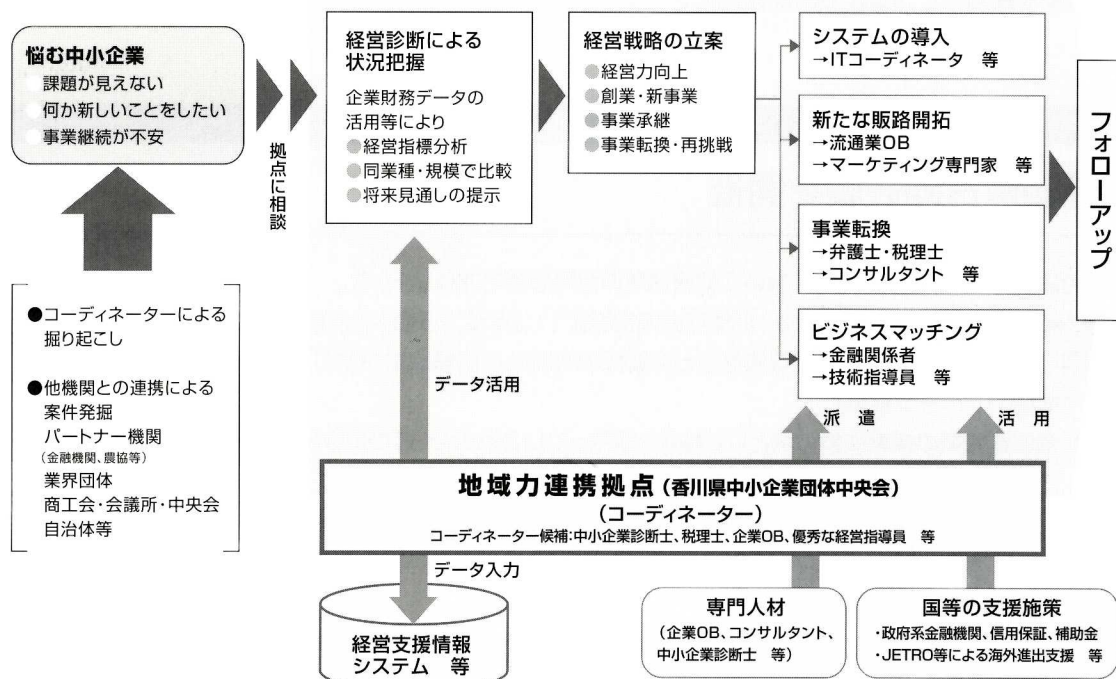
連携拠点の支援内容

相談業務…応援コーディネーター、中央会職員が中心となり、本会事務所で開催する窓口相談や巡回指導を通じて相談や支援に応じます。

専門家派遣…拠点事業の支援メニューに必要な専門家を無料で派遣します。

セミナー等の開催・情報の提供…支援メニューに沿った各種セミナー等を開催し、本会HPやPR用チラシ等の配布により中小企業に役立つ情報を提供します。

地域力連携拠点の支援の流れ



ご相談・お問い合わせは…

香川県中小企業団体中央会

〒760-8562 高松市福岡町2丁目2番2-401号(香川県産業会館4階)

TEL(087)851-8311 FAX(087)822-4377

URL:<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/> E-mail:staff@chuokai-kagawa.or.jp

会員ニュース

手袋生誕120年記念式典を開催! (日本手袋工業組合)

日本手袋工業組合(代表理事:砂川匡、84組合員)は、11月22日東かがわ市のホテルにおいて、「手袋生誕120年記念式典」を開催し、真鍋知事を始め130名余が出席し節目の年を祝いました。

始めに、砂川理事長より、「手袋産業は1888年(明治21年)に両児舜礼師により、「四国・東かがわ市」に産業の種が蒔かれ、長い歴史の中で、先人たちの幾多の困難もあったが、今では全国の90%を占める手袋の大産地となった。また、グローバル化が進み現在、当業界は他の産業に先駆けて東南アジアを中心にした生産面におけるコラボレーションをはかり、日本国内はもとより世界への発信基地として着実にその成果を上げています。世界に類を見ない手袋製造技術を生かし、関連商品の開発にも積極的に取り組んでおり、今後も業界一丸となって、「夢を描き、希望を持って、輝ける手袋の未来」に向かって着実に歩んで行く。」と力強く挨拶しました。



▲砂川理事長挨拶



▲真鍋知事挨拶

続いて、手袋功労者・優良従業員表彰が行われた後、高松大学の中国人留学生鄭井さんらが、「香川のてぶくろ(GLOVE)には愛(LOVE)がある」と手袋憲章を発表するなど式典に華を添えられました。

続いて懇親会では、パートナーオブザ・イヤーに選ばれた真鍋知事夫妻や全日本男子バレーボールの植田辰哉監督夫妻も出席され、多くの関係者と賑やかに交流が図られました。



▲記念式典



▲資料館



▲オープンセレモニー

中央会だより 3

情報連絡員合同会議を開催

本会は11月26日、ウェルシティ高松において情報連絡員合同会議を開催しました。本会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱し、毎月の情報連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び問題点について情報提供を行っています(本誌6・7ページ参照)。

この会議は、情報連絡員の情報交換の場として毎年1回行っているもので、この日は31名が出席しました。

本会谷野専務理事の挨拶の後、(株)商工組合中央金庫高松支店久家支店長が「最近の経済動向」と題して講演を行い、米国、中国、欧州などの国際経済並びに日本経済について主要指標に基づきポイントを分かりやすく解説していただきました。



▲会議の様子

▲(株)商工組合中央金庫
久家高松支店長

次に、本会より情報連絡員レポートの調査結果と業界の景況を説明の後、最近の県内中小企業における景況と問題点について、各業界を代表して6名の連絡員より業界の動向についての具体的発表がありました。

県内の業況は、ほとんどの業種で、原材料価格の値上がり分を価格に転嫁できず、収益が圧迫されており、また、不透明な経済情勢も加わって、消費者の心理を圧迫させ購買意欲を減少させており、先行きは楽観できない状況が続いている旨の報告がされました。

引き続き、本会より各種事業にかかる講習会等の周知を行い、会議を終了しました。

平成20年度上半期 情報連絡員の報告概要

●惣菜

障害者を16名雇用している。各企業が負担して設備投資するには多額の費用が発生するので、洗浄・炊飯の設備、システムを組合で導入して合理化を図っている。



●醤油

後継者不足、企業間の格差が懸念される中で、大豆・小麦の高騰が経営を圧迫している。来年4月以降も原材料の高止まりが予想される。食の安全性が問われ、社会的責任の重さも痛感している。



●手延素麺

春・秋に小麦粉の値上げがあり、原材料の値上げ分は価格に乘せたいが、消費者のサイフ、値頃感が分からない。また、来春には小麦の値上げが言われている。価格設定が非常に難しい。

●木材

平成20年1月から9月現在の住宅着工戸数は約83万戸、前年1月から9月までは約81万戸と対前年比2.7%増加している。昨年は、7月からの建築基準法の改正により住宅着工戸数が大きく減少した。来年10月からは、一段と厳しい法改正があり、ますます住宅着工戸数は落ち込みそうである。

●印刷

紙・インキ・消耗品・ガソリンの値上げが大きな負担となっている。印刷用紙の価格は、7月から13%～15%ほど上昇し、今回の上げ幅はオイルショック以来の大きさである。

●生コン

公共・民間工事とも減少傾向にあり、市況の悪化、不良債権の発生が懸念される。

●石材加工

石あかりロードで約85,000人が訪れた。期間中に「第1回全国あかりサミット」を高松市石の民俗資料館にて開催し、全国であかりを使って地域の活性化を行っている団体が9道県から参加した。香川大学工学部の協力を得て端材、石粉等を再利用した商品の開発実験をしている。



(当日欠席の連絡員からは事前に業況報告を頂いており、上記の報告には欠席者の報告も含んでいます。)

●漆器

生活様式の変更、安価な輸入品の増加により、売上げがピーク時の30%ぐらいに落ちている。高級品ではない普段使える漆器を製作し、モニター事業を通じて消費者の意見も聴いている。見本市、漆器祭りの開催により売上げが下げ止まっていたが、夏以降の景気減速の影響を受け、今後の売上げ減少が懸念される。



●団扇

今期は、得意先への必要最低限度の値上げを要請して、シーズンに入ったが、受注動向は鈍く、今期の生産出荷本数は横這いから減少方向に転じた。問題点として、竹骨(中国産)が業界全体で品切れ状態になった。理由としては、中国の現地工場の生産力の低下が考えられる。

●農機具

他の業界同様、非常に厳しい。現在、機械の値上げ等で農家の買い控えが顕著になっている。値上げ前の駆け込み需要も9月に終わり、10月以降はその反動も大きく、販売は大きく落ち込んでいる状況にある。

●丸亀市

ピーク時と比べて通行量が10分の1に落ち込み、店舗数も半減している。消費者の節約意識は、ますます高まっている。零細商店は後継者もいない。婆婆羅祭りではボランティアなど店主以外の人が頑張っている中で、店主が応援に應えられていないので、意識改革が必要である。



●タクシー

香川県の香川地区(小豆島を除く)のタクシー運賃が平成19年12月3日から12年振りに改定されたが、予想以上に輸送人員が減少していて、収入は対前年比±ゼロであり、経営は厳しい。

●貨物

長期不況の中で、①燃料の高騰、②運賃水準の低下、荷主企業の理解困難、③社会的負担増(本四通行料金等及び自動車諸税)の問題点により、事業経営が極めて厳しい状況である。

●美容

髪を染める人の中で、美容室で髪を染める人は半分である。低額でカットする店が大型店の出店に併せて進出している。組合員にも影響が出ている。組合で美容学校を設立しているが、今後は生徒の獲得が課題になっていくものと思われる。



株式会社 八栗

- 所属組合 協同組合スプラ
- 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役 寺田正樹

代表取締役 寺田 正樹

設立 昭和59年4月

資本金 1,000万円

従業員数 30名

本社住所 〒761-0121
高松市牟礼町牟礼2136-8

TEL 087-845-5816

FAX 087-845-5862

事業内容 寿司種の製造及び切身製品の製造販売

ホームページ <http://www.yakuri.com/>

沿革

昭和59年4月、木田郡牟礼町（当時）において、寿司種の製造を主たる事業として（有）八栗食品工業を設立。平成15年3月、（株）八栗に改組するとともに、一般向け贈答用品の製造・販売を開始。

平成20年、百貨店仕様の贈答品の製造実績の経験を活かした、「八栗ブランド」を発売。



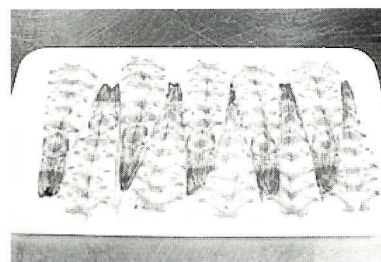
▲本社風景

水産加工業の現状

国内の水産加工製造業は、大量生産の大部分を中国にシフトし、中国産の材料を中国で製造することによりコストダウンを図っています。そのため国内の業者は小回りの利く小ロットの加工を余儀なくされています。



◀作業風景



◀天然車寿司海老

当社は四国霊場85番八栗寺のお膝下で創業して23年になります。水産加工メーカーとして寿司エビを製造している会社は香川県内の数社となり、海外生産に押されている状況が続いています。寿司ネタ用の海老は鮮度が命の食材であるがゆえに様々な工夫を積み重ねようやく現在のスタイルが確立され、寿司屋、スーパー等へ納入しております。

数年前より海老だけでなく、魚や貝類等の加工も始め寿司ネタだけでなく切身の形での出荷も手掛けるようになり、瀬戸内海で採れる魚を使った要望が少しずつ増加してきました。

瀬戸内海産魚介類へのこだわり

毎日仲買が瀬戸内の新鮮な魚を運んでくれる、その魚を当社の工場加工し、直接お客様の元に提供できたら…そんな思いで通信販売に掲載したところ、お中元、お歳暮時期にたくさん注文がくるようになります。

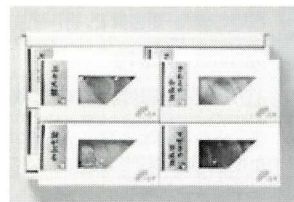
今まで百貨店を通じギフトを手掛けてきた経緯はあるものの、オリジナルとしての八栗の商品はこれでいいのだろうか。パッケージの体裁だけに走って行ったらダメ。今問題になっている食品表示等の徹底等いろいろな試行錯誤を行い消費者の要望をいち早くキャッチしスピーディに対応する製造業者を目指します。

瀬戸内の魚を世界に向け発信

欧米において、日本食は大変に人気ですが、中国、特に最近の富裕層は食の安全とおいしさを求めることがステータスとなっています。

瀬戸内の魚は私たち県民の宝物です。今回（財）かがわ産業支援財団より推薦を受け上海での国際見本市に出展し、瀬戸内産の魚を使った惣菜を手軽

なパッケージで加工し中国全土はもとより香港・台北等への輸出ルートの拡大を目指します。



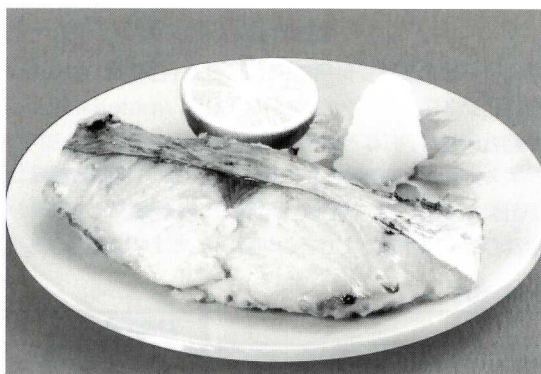
▲瀬戸内煮魚セット

今後の抱負

『八栗の風便り』という情報紙を年に2回発行し、四国霊場88カ所を1番札所から特集したり、得する魚の情報、旬のお魚レシピ、新製品紹介など盛りだくさんです。

DMを通じてお客様のご要望やご意見をいただき、製品作りの励みになっています。興味のある方、どんなものだろうかと思われる方はご連絡ください。次回号から送らせていただきます。

当社の讃岐味噌漬は厳選した瀬戸内の魚に、天日干しの讃岐の塩、風味豊かな讃岐の味噌で漬けています。東京や関西圏に贈られる方がほとんどですが、送られたお客様から故郷を懐かしんでか、リピート注文を度々いただきます。瀬戸内とか讃岐の言葉の響きだけでなく、本物の味をお届けできるようこれからも精一杯精進していきますので、どうかよろしくお願いします。



▲味噌漬調理例



▲海鮮バラエティセット

商工中金だより

「中央会推薦貸付制度」のご案内

●貸付制度の概要

貸付対象者	香川県中小企業団体中央会ならびに当公庫が定める支援対象テーマ(※)に取組む組合・組合員で、香川県中小企業団体中央会から推薦された者
資金使途	設備資金、運転資金
貸付限度	100百万円(貸付金額は当金庫所定の審査によります)
貸付利率	当公庫所定の貸出利率-0.3%(固定金利) ただし、貸出期間5年超については、長期プライムレートを下限とします。
貸付期間	当金庫所定の審査によります
担保	当金庫所定の審査の結果、必要となる場合があります
保証人	(組合へのご融資の場合)原則、組合役員 (組合員へのご融資の場合)原則、代表者1名
期限前返済	可能です。ただし、期限前返済手数料が発生する場合がございます

当公庫の審査の結果ご融資できない場合もございます。(審査の結果につきましては、直接お申込人に回答いたします。)

※具体的な支援対象テーマ

- ☐新設組合支援
- ☐女性・子育て支援
- ☐ものづくり支援
- ☐環境対策支援
- ☐地域資源活用支援(農工商連携を含む)
- ☐BCP支援

【お問い合わせ先】

株式会社 商工組合中央金庫 高松支店

〒760-0052 高松市瓦町1-3-8

TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

日本政策金融公庫だより

中小企業事業からのお知らせ

【貸付制度のお知らせ】

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ (③-0.4)	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ 特約エネ利率 特約エネ利率	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	社会環境対応施設 整備資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 15年
企業活力強化資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	2億5千万円	基準利率	—	設備 15年	企業再建・事業承継 支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年

注) 同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

国民生活事業からのお知らせ

ビジネスマッチングサービス開始のご案内

平成21年1月(サービス登録受付平成20年12月1日開始)から、日本政策金融公庫(国民生活事業)ホームページ上でビジネスマッチングサイト「ビジネスマッチングゲート」(<http://match.k.jfc.go.jp/>)を開設します。

販路の拡大や自社製品のPRなど取引先の開拓を希望する公庫(国民生活事業)お取引先のみなさまに、インターネットを活用し、全国規模のビジネスチャンスをご提供するサービスです(ご利用は無料です。)

○サイトへのご登録は、現在公庫(国民生活事業)に事業資金のご融資の残高を有する方に限ります。

○お客様のご融資のお取引状況などからご利用いただけない場合があります。

主な融資制度のご案内

	融資限度額	金利	返済期間
ほとんどの業種の方にご利用いただけます。 普通貸付	4,800万円	2.45%	(運転)5年以内 特に必要な場合は7年以内 (設備)10年以内

(注) 金利は平成20年11月13日現在のものです。適用金利はお使いみち、ご融資期間により変わります。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2・3階 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業(旧 中小企業金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階

TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係(旧 国民生活金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階

TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

1日	香川県議会議長松本康範氏就任祝賀会	(全日空ホテルクレメント高松)
4日	中小企業底上げ・地域活性化集会連絡会議	(香川県商工会連合会)
5日	香川商工中金会	(ロイヤルパークホテル高松)
7日	香川県中小小売商団体連合会視察研修会～8日	(兵庫県)
10日	中国四国地域食品オーディション	(岡山県)
	地域資源・農商工連携セミナー	(ウェルシティ高松)
11日	地域資源・農商工連携セミナー	(小豆島町農林環境改善センター)
12日	香川子育て女性等の就職支援協議会	(高松サンポート合同庁舎)
	組織化指導中央研究会～13日	(東京都)
13日	労働者派遣・請負事業の適正実施セミナー	(高松サンポート合同庁舎)
	道路整備促進香川県総決起大会	(香川県社会福祉総合センター)
14日	中央会青年部視察研修会～15日	(兵庫県)
	組合青年部全国講習会	(兵庫県)
	年末調整説明会	(サンポートホール高松)
15日	経営者・後継者研修会	(三木町文化交流プラザ)
18日	高松市造園緑化維持管理事業協同組合創立総会	(本会研修室)
20日	第60回中小企業団体全国大会	(宮城県)
	労働契約に係る相談会	(本会相談室)
	組合等情報ネットワークシステム等開発事業委員会	(中央電業(株))
22日	日本手袋工業組合・手袋生誕120年記念式典	(三本松ロイヤルホテル)
26日	中小企業団体情報連絡員合同会議	(ウェルシティ高松)
27日	中央会青年部正副会長会	(高松国際ホテル)
	中小企業経営塾(第1回)	(高松国際ホテル)
	中央会青年部交流会	(高松国際ホテル)
	官公需適格組合全国研修会	(東京都)
28日	新事務所竣工に伴う神事	(香川県電気工事業(工)新事務所)
29日	親方ドットコム事業協同組合懇親会	(貞吉)

年末年始の交通安全県民運動

スローガン	「かがわの交通安全 “守ろうルール 示そうマナー”」
期 間	平成20年12月10日(水)～平成21年1月10日(土)までの32日間
運動の基本	高齢者の交通事故防止
運 動 重 点	1.飲酒運転の根絶(飲酒運転等悪質・危険な運転の追放) 2.交差点及びその付近での交通事故防止 3.全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

香川県交通安全県民会議

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書 名	著 者	出版社/定価
1	追憶のカレン クラッシュ・ブレイズ	茅田 砂胡	中央公論新社/945円
2	東大合格生のノートはかならず美しい	太田 あや	文藝春秋/1,000円
3	人間の覚悟	五木 寛之	新潮社/714円
4	竹中式 マトリクス勉強法	竹中 平蔵	幻冬舎/998円
5	中讃・西讃今昔写真帖	武田 寿	郷土出版社/9,975円

香川県書店商業組合調べ